



2013年6月10日
号 外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

参議院議員大河原まさこ事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11 山一ビル2階
TEL:03-6550-0417 FAX:03-6551-0417
<http://www.ookawaramasako.com>
E-mail:info@ookawaramasako.com

「暮らしを守る力になる。」 海江田代表が街頭演説



海江田代表は、支えを必要とする人に手を差し伸べるのが政治の役割であると強調。格差の拡大は問題だとして、安倍内閣の経済政策による輸入品の値上がりなどによって生活必需品の高騰が進み、母

子家庭やお年寄りの世帯など特にきびしい生活を強いられている人たちの暮らしに影響が及んでいることを「大きな問題だ」と指摘した。「こうした人たちを政治の手で守っていかねばならない」と力説した海江田代表は、民主党の政治姿勢を象徴するものとして「暮らしを守る力になる。」という新しいスローガンを掲げたことを表明した。「人を大事にする政策」に優先的に予算をつけていくことが重要だとして、国土強靱化のために200兆円もの予算配分をする自民党ではなく、「暮らしを守る力になる」民主党にこそ支持を寄せてほしいと訴えた。

“共に生きる社会”へ 細野幹事長が演説



細野幹事長は、「安倍さんは6年前からずいぶん変わったかもしれないが、しかし自殺の問題にしても、医療崩壊にしても、消えた年金問題にしても、その反省があるならば、なぜ社会保障制度改革をやり、格差の問題に正面から取り組もうとしないのか」と安倍政権の姿勢を批判。「民主党は綱領の中で『共に生きる社会をつくろう』という目標を掲げた。だからこそ地域のつながりやNPOや社会保障の仕組みが大事だと思っている。このビジョンを掲げて政策を前に進めることができる政党はいったいどこか。それは自民党や維新なのか。私はそれは違うと思う。確かに民主党は未熟だったかもしれないが、この理念を掲げる民主党に もう一度、もう少し数をいただいて、必要なときはブレーキを踏む、そして政策を提案する、そういうチャンスをいただきたい」と訴えた。

り、格差の問題に正面から取り組もうとしないのか」と安倍政権の姿勢を批判。「民主党は綱領の中で『共に生きる社会をつくろう』という目標を掲げた。だからこそ地域のつながりやNPOや社会保障の仕組みが大事だと思っている。このビジョンを掲げて政策を前に進めることができる政党はいったいどこか。それは自民党や維新なのか。私はそれは違うと思う。確かに民主党は未熟だったかもしれないが、この理念を掲げる民主党に もう一度、もう少し数をいただいて、必要なときはブレーキを踏む、そして政策を提案する、そういうチャンスをいただきたい」と訴えた。

参議院選挙への方針を決定 ～熱き夏の決戦～

民主党は、7月4日(木)公示、7月21日(日)投開票で行われる予定の第23回参議院議員選挙に向けて、都道府県選挙区40名、比例区19名の公認推薦を決定しました。常任幹事会において、海江田万里代表は「今回の参議院議員選挙は、党再生のために重要な闘いであると共に、政権与党に参議院で3分の2の議席を確保させず、安倍政権の暴走にブレーキをかけるための決戦である。全員当選を目指し党所属議員が一丸となって、この夏を乗り越えて行こう。」と発言されました。

東京選挙区においては、参議院議員の大河原まさこさんが公認予定候補と決定いたしました。大河原まさこさんは現職1期目、都議会議員を3期10年勤められ、党の消費者・食品安全特別部門会議の事務局長として、食品表示、食の安全を初めとする消費者問題や、環境問題、子ども子育て問題などに取り組みされてこられました。国会の本会議、委員会はもちろんのこと、党の部門会議、多くの議員連盟にも所属し、日夜多くの会合や地域を駆けまわるその行動力は議員の中でも群を抜いています。

「生活のプロ」大河原まさこさんの想い、政策、プロフィールなどは、裏面をご覧ください。

